

三 一二斗ある米は三斗ある

梨のたべかすを帽子の中へ入れて、帯でシャツボと縛つて、甲板から海へ投げた。

潮に濡れて重いのを引き上げる。

それを乾かさねばならない。

帯は縮み皺だらけに破れてゐる。

伸ばして帽子でコスる。

暗い海だ。

變な情熱に憑かれてゐた。

何んなドンダリが未來に轉がつてゐても、かしくく口中の唾液を射精しない様に心掛けねばならぬ。

大阪で二泊した。

新吉は湯屋で水をかすいた。